古 类 夕	41535	止汗療徒保 合富 致義			会計	1 一環会計	4//	政	策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市
尹朱七	番枝	生活環境保全事務費		予	款	4 衛生費	総 分野 6 環境·衛生		環境·衛生	中华社画古米	公害防止対策事業、水質汚濁対策事業		
+0 17 =8			内線	算	項	1 保険衛生費	計画	基本	施策	1	快適に暮らせる環境を整備する		
担国胡		環境政策部 生活環境課	2172		目	5 生活環境費	Ш	柏	策	1	生活環境の保全	H26実施計画額	3,372 千円

1 事業の目的・概要(Plan)

目 誰を(対象) 全市民 どうしたいのか ・公害の発生防止と、公害が発生した場合は被害を最小限に食い止める	概要	事業の実施 手法(手段)	・水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性を啓発する。 ・騒音、振動、悪臭苦情に係る立入検査の実施と、騒音の定期観測調査の実施。
---	----	-----------------	---

2 事業の推移・結果(Do)

	H24			振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施と騒む の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川						
				指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	H26
	活	水質調査地	占占粉		筒所	目標値	19	19	19	19
	動指	小貝剛且以	ᇰᆏᅑ		固加	実績(見込)	19	19	19	
	標	算出根拠	l等			達成率(%)	100	100	100	
	活	カワゲラウ	+~.+	ングの開催数	0	目標値	1	1	1	1
	動指	,,,,,,	1)	ングの所 催奴		実績(見込)	1	1	1	
	標	算出根拠	l等			達成率(%)	100	100	100	
	成田	カワゲラウ	+~.+	ングの参加者数		目標値	60	60	60	60
	果指	2777	1)	ングの参加省数	_ ^	実績(見込)	29	73	65	
成	標	算出根拠	等			達成率(%)	48	122	108	
果面	成果	竪辛 振動	亜自	と苦情の解決件数	0	目標値	42	41	46	-
田	未指		, w.	E 日 旧 の 肝 久 下 女	1	実績(見込)	38	37	42	
	標	算出根拠	等	解決件数/(相談件数+未解決件数)		達成率(%)	90	90	91	
						目標値				
						実績(見込)				
		算出根拠	等			達成率(%)				
						目標値				
						実績(見込)				
		算出根拠	l等			達成率(%)				
	補足			·						

3 分析·評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・公害に対する市民の意識が高く、公害苦情の件数が増加傾向にあるとともに、長期継続公害苦情もあることから、公害防止の啓発活動を実施する必要がある。 ・水質汚濁防止啓発活動のカワゲラウォッチングは、学校の授業でも取り組まれていることから参加者の減少が隔年でおきているが、継続して実施し、啓発を図る必要がある。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	・公害苦情に対する市民の意識向上のため、啓発を実施するとともに、公害苦情に対し、適切な対応をとる。 ・水質汚濁防止啓発活動の実施。
	担	0	維持·改善	
次			拡大	・公害防止の効果的な啓発活動を実施すること、及び発生した公害をより迅速に、また、被害最小限となるよう関係機関との連携を強化する。
年度			縮小	る。 ・水質汚濁防止啓発活動と公害防止啓発を実施する。
σ	曲		廃止検討	
美施	-	0	維持·改善	
力	次		拡大	(担当課評価に同じ)
金	評価		縮小	\\= 3
	Щ		廃止検討	

コスト面

一八一						
		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円) (1,220	1,397	2,870	3,372
		受益者1件当たり(円) (A/I	13	15	31	37
	受益者	市民(4月1日現在)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

- 悪臭水質等環境調査の実施 ・ 塩(中放射性物質調査の要託 ・ カリル水質調査の要託 ・ 河川水質調査の要託

	事業費(人件費除<)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	2,870	3,372	502	2,870	2,870		
87	国庫支出金			0				
源	県支出金	320	320	0	320	320	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
内	その他			0				
哥	一般財源	2,550	3,052	502	2,550	2,550		

中 类 4	42200	ごみ収集事業費			会計	1 一般会計	6//	政策	ž	3 「すみよさ」のあるまちをめざして		根拠計画	ごみ処理基本計画	±	,				
尹未1	番枝	この収集手来員		予	款	4 衛生費	総合	分野	ř	6 3	環境·衛生	実施計画事業	ごみ収集事業	長					
+B 7₹ =	3	環境政策部 生活環境課	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本抗	策	2	資源循環型社会の実現を図る		<u> </u>	公约					
担当市	•	環境政東部 生活環境課	2960		目	2 塵芥処理費		施領	ž	2 1	収集処理業務の効率化	H26実施計画額	279,970 千円 ***	R.J					

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を(5	対象) 全市民	どうしたい	・日常生活にともなって生じる一般廃棄物を適正に収集運搬し、快適な市民生活環境を保全する	概	事業の実施	・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を民間委託により実施する
B	対象	者数 92,097 人	(意図)	・日帝エカにとではプリエレジー放廃条例と過止に収集運販し、休憩は印氏エカ球先を休主する	要	手法(手段)	・不適正処理(不法投棄、違反ごみ等)対策を実施する

2 事業の推移・結果(Do)

	H24	実績	・民間委託による市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器・ごみステーション違反ごみの回収・・不法投棄対策(パトロール、通報による出動等)の実施	包装・粗ブ	にごみ等の収集	運搬			
		·	指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	H26
	活	7=_:	ョンごみ収集日数	В	目標値	257	256	257	258
	動指	A) - D	ロンこの収集ロ奴		実績(見込)	257	256	257	
	標	算出根	拠等 ごみ処理基本計画		達成率(%)	100	100	100	
	活動	不法投棄	監視パトロール日数	В	目標値	20	50	20	20
	町 指	11/A1X*		н	実績(見込)	62	70	20	
	標	算出根	拠等 ごみ処理基本計画		達成率(%)	310	140	100	
	成果	安庭系—	般廃棄物収集量	l t	目標値	18,409	18,302	18,268	18,237
	指	かルニハ	以况未彻本未至	L.	実績(見込)	18,509	18,542	18,319	
成	標	算出根	拠等 計量統計		達成率(%)	101	101	100	
果面	成果	不適正ご	み回収量(ステーション違反ごみ、不法投棄回収ごみ)	l t	目標値	3	3	3	3
山	指	1,222			実績(見込)	3	3	3	
	標	算出根	拠等 計量統計		達成率(%)	100	100	100	
					目標値				
ĺ					実績(見込)				
		算出根	拠等		達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根	拠等		達成率(%)				
	補足								

3 分析·評価(Check)

・さらなる不適正処理対策(委託業者収集時のパトロールの実施、警察など関係機関との連携による不適正処理の未然防止等) ・委託業務の見直し(収集地区ごとの収集量及び収集コストの検証等)
・分別方法についての広報等による啓発

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	・支所担当者及び委託業者職員により、ごみ収集等に関する意見交換会を行い、収集方法等を研究する。
	担	0	維持·改善	
b			拡大	・ごみの分別と収集方法の検討
白月	評		縮小	
0	一曲		廃止検討	
更於	- 1	0	維持·改善	
7	次		拡大	(担当課評価に同じ)
金	評価		縮小	\12.13
	亘		廃止検討	

コスト面

-, ·, ·							
		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	267,386	268,595	276,300	279,970
		受益者1件当たり(円) (A	1/B)	2,866	2,892	3,000	3,040
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業・民間委託による市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬業務の・ごみステーション遺反ごみの回収・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬業務のが、一次のでは、「おいて、通報による出動等)の実施・「大適正処理対策(パトロール、通報による出動等)の実施

- さらなる不適正処理対策(委託業者収集時のパトロールの実施、警察県関係部署との連携強化) ・委託業務見直しの検討(収集エリア、収集量における収集コストの検証)

	事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	276,300 279,970 3,670 284,200 284,200								
Я	国庫支出金			0						
1	旧士山ム			0			・積算内容を精査	・財務部査定のとおり		
Þ	その他	5,440	5,942	502	6,340	6,340				
ā	一般財源	270,860	274,028	3,168	277,860	277,860				

車業 夕	42205	ごみ焼却処理事業費			会計	1 一般会計	4/1	政策	策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	
尹未石	番枝	C07施却危些手来真		予	款	4 衛生費	合	分	野	6	環境·衛生	実施計画事業	ごみ焼却処理事業	
+D 1/4 ==			内線	算	項	2 清掃費	計画	基本	施策	2	資源循環型社会の実現を図る		75	
担当謀		環境政策部 生活環境課	2960		目	2 塵芥処理費		施统	策	2	収集処理業務の効率化	H26実施計画額	148,502 千円 ***	

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰	を(対象)	全市民	どうしたい	・適正な焼却処理の実施により「すみよさ」のある生活環境を確保する	概		・ごみの焼却処理及び焼却施設の維持管理を直営により実施する
Ĥ	対	才象者数	92,097 人	(意図)	・適正な洗却を埋い夫心により、すかよこ」のののエルス先を確保する	要	手法(手段)	・焼却炉の適正な運転管理を行うため、設備の保守点検業務等を民間委託により実施する

2 事業の推移・結果(Do)

	H24	実績	·設備0	こよるごみの焼却処理及び維持管理の実施(資 カ点検及びダイオキシン濃度等の調査を民間委 フリーンセンターの解体に向けての設計委託業系	託により実		野クリーンセンター)		
				指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	H26
	活	^ 2. / 4.± 11	口粉 / 沒	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	В	目標値	335	341	331	335
	動指	この形型	口奴(<u>5</u>	もが、ケケインルピンター)	"	実績(見込)	334	342	339	
	標	算出根	拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	100	100	102	
	活	プル協却	口粉(力	ス々野クリーンセンター)	В	目標値	118	100	80	80
	動指	この形型	ロ 奴 (2	ヘベギュラリーフェンター)		実績(見込)	116	115	80	
	標	算出根	拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	98	115	100	
	成果	ガノナキ・	こ、海湾	農度(資源リサイクルセンター排ガス)	ng/mi	目標値	1以下	1以下	1以下	1以下
	指	2-12-7	ノンススル	RIX(見味リッコンルピング 19Fガベ)	lig/ III	実績(見込)	0.036	0.160	0.005	
成	標	算出根	拠等	ダイオキシン測定結果		達成率(%)	100	100	100	
果面	成果	ガノナキ・	こ、海湾	農度(久々野クリーンセンター排ガス)	ng/m³	目標値	5以下	5以下	5以下	5以下
ш	指	2107	インン規模を(入べまり)リーンセンターがカへ)		lig/ III	実績(見込)	0.087	0.240	0.040	
	標	算出根	拠等	ダイオキシン測定結果		達成率(%)	100	100	100	
						目標値				
						実績(見込)				
		算出根	拠等			達成率(%)				
						目標値				
						実績(見込)				
		算出根	拠等			達成率(%)				
	補足	ダイオキ	シン類濃	農度の目標値欄に記載されている数字は基準値	であり、基準	基値以下を達成	しなければならない	۸.		

3 分析·評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題 ・コスト縮減に向けての取り組み(施設の統廃合等)

4 今後の方向性(Action)

			:対する 5状況	・飛騨市との委託解消によるコスト縮減 ・荒城クリーンセンター焼却施設の解体工事
	担	0	維持·改善	
次年度			拡大	・焼却施設の適正な維持管理を引き続き行うことにより、環境負荷の軽減に取り組む
	- π		縮小	が、水水のでは、水のでは、
σ.	曲		廃止検討	
美旅		0	維持·改善	
ナ	次		拡大	・引き続き適正な維持管理を行いつつ、コスト縮減を進める必要がある。
金	評価		縮小	プIC税に起上や他可目性で11v・イン、コハF他級と進めるが支が切る。
	Щ		廃止検討	

コスト面

-, п ш						
		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円) (A)	120,219	73,272	193,229	148,502
		受益者1件当たり(円) (A/B)	1,288	789	2,098	1,612
	受益者	市民(4月1日現在) (B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業・直営によるごみ焼却施設の維持管理の実施(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター)・設備の点検及びダイオキシン類などの調査の実施 のがボイント

	事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	193,229	148,502	△ 44,727	148,407	148,407				
8:	国庫支出金			(・積算内容を精査			
源	県支出金			0			・荒城クリーンセンター解体費の減	・財務部査定のとおり		
 	その他	112,334	63,247	△ 49,087	78,970	78,970				
副	一般財源	80,895	85,255	4,360	69,437	69,437				

車業 夕	42210 ごみ埋立処理事業費			会計	1 一般会計	445	政	策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画
尹未石	番枝 この単立が単手来員		予	款	4 衛生費	6 環境·衛生 実施計画事業 ご	こみ埋立処理事業 長					
#日本=曲	是在环境的 化泛语控制	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本	施策	2	資源循環型社会の実現を図る		
担目誅	環境政策部 生活環境課	2960		目	2 塵芥処理費	Ш	施	策	2	収集処理業務の効率化	H26実施計画額	54,843 千円 料

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰	蛙を(対象)	全市民	どうしたい	第十九四十的四个四种位(以下十九十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十	概	事業の実施	・廃棄物の埋立処理事業を民間委託により実施する
B*	対	付象者数	92,097 人	(意図)	・適正な埋立処理の実施により「すみよさ」のある生活環境を確保する	要	手法(手段)	・汚水処理施設の維持管理を直営により実施する

2 事業の推移・結果(Do)

_														_
	H24	実績	・埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセ 実施 ・設備の点検及びダイオキシン濃度等の調査を民間委託			↑地、荘川埋立処分	地、上宝埋立処分均	也)の埋立作業及び	維持管理作業の		5	分析·診	における 平価で こった課題	·#
			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	H26					
	活	埋立作業	D. ***	В	目標値	311	308	309	309				方向性(Ac	
	動指	生工TF未	口奴		実績(見込)	311	308	309		ŕ	+ 7	1友()),	万时主(AC	LIOI
	標	算出根	処等 ごみ処理基本計画	•	達成率(%)	100	100	100						
	成		レン類濃度(資源リサイクルセンター第1次埋立地処理	pg/Q	目標値	10以下	10以下	10以下	10以下		課題等に H25対応			• 共 • 私
	果指	水)		pg/ x	実績(見込)	0.006	0.005	0.006						
	標	算出根	処等 ごみ処理基本計画		達成率(%)	100	100	100			1	10	維持·改善	┢
	成		ンン類濃度(資源リサイクルセンター第2次埋立地処理	pg/Q	目標値	10以下	10以下	10以下	10以下		担 . 出	á	拡大	
	果指	水)		pg/ x	実績(見込)	0.025	0.020	0.005		4	火 ==	.	縮小	٠ţ
成	標	算出根	処等 ダイオキシン測定結果		達成率(%)	100	100	100			芝 /#		廃止検討	
果	成	ガノナキ	ンン類濃度(久々野クリーンセンター埋立地処理水)	pg/l	目標値	10以下	10以下	10以下	10以下	9	実 -	 	維持·改善	┢
面	果指	メイオ モ	ンン類派及(久々野グリーンセンダー埋立地処理小)		実績(見込)	0.001	0.018	0.000		方	施 二	-	拡大	
	標	算出根	処等 ダイオキシン測定結果		達成率(%)	100	100	100			方 次 計 評		縮小	٠.
					目標値						価	i	廃止検討	
					実績(見込)								光工权的	_
		算出根	拠等		達成率(%)					_=	ストロ	面		
					目標値									
					実績(見込)									
		算出根	拠等		達成率(%)						コスト 指標			
	補	ダイナキ	ンン類濃度の目標値欄に記載されている数字は基準値で	・ おい 其 タ	集値 以下を達成	こかければからかし	`							
	足	7 10 7.	ノン 双版区の日本に同じの数で作り、の数子は至年に	. 6) 八 坐=	-	.0.617401845940	.0						受益者	市

3 分析·評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・埋立地の延命化対策(埋立廃棄物の細粒化及び細分化、残容量測定等による残余年数の把握等)
----------------------------------	--

	H25対応 4 担当課評価 二次評価 二次評価		・埋立業者に対する埋立方法の指導強化 ・破砕機の修繕						
		0	維持·改善						
	次年度の実施方針	拡大	立施設の適正な維持管理を引き続き行うことにより、環境負荷の軽減に取り組む						
年		縮小							
_O		廃止検討							
実体		0	維持·改善						
方			拡大	・引き続き適正な維持管理を行いつつ、コスト縮減を進める必要がある。					
針			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	JIC桃C 胆正'の性)すら生と11v・ノノ、コハい 組成と 進い'のな'女ル'の'の。					
	Щ		廃止検討						

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
コス指標		歳出(千円)	(A)	36,349	40,214	44,800	54,843
		受益者1件当たり(円)	(A/B)	390	433	486	595
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事・埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荘川埋立処分地、上宝埋立 水 水 処分地)の埋立作業及び維持管理作業の実施 ・ 設備の点検及びダイオキンン濃度等の調査の実施 ・ 埋立処分地残容量の測量 ・埋立処分地の延命化対策(埋立廃棄物の細粒化及び細分化)

	事業費(人件費除ぐ)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	44,800	54,843	10,043	45,040	45,040		
財	国庫支出金			0				
源	県支出金			0			・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
内	その他	44,254	54,843	10,589	36,831	36,831		
活	一般財源	546	0	△ 546	8,209	8,209		

本業な	42215 - 本技			会計	1 一般会計	4//	政	策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	市	
尹未1	番枝	この終重に推進手来員		予	款	4 衛生費	給合	分	野	6	環境·衛生	実施計画事業	ごみ減量化意識高揚事業、生ごみ堆肥化設備設置事業補助	長
担业部	=	理接政策部 水洋漂接钾	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本	施策	2	資源循環型社会の実現を図る			公约
15 3 5	*	煤烧以来的 工冶煤烧床	2172		Ш	2 塵芥処理費	1	施		1	ごみの減量化や資源化	H26実施計画額	13,778 千円 ***	נייה

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰	を(対象)	全市民	どうしたい のか	・ごみ処理券(シール)制や生ごみ堆肥化装置の普及促進により、ごみの減量化を図る	概	争耒の美胞	- ごみ処理券回収奨励金の交付 - 生ごみ堆肥化装置設置補助の交付
B	対	象者数	92,097 人	(意図)	・こかだ柱が(ノール)制で工この地応し衣匠の自及を延により、こかの病量10を凶る	要		・こみの出し方と分別、及び資源化の啓発

2 事業の推移・結果(Do)

		実績	・ごみ処理券回収奨励金の交付 ・生ごみ推肥化装置設置補助の交付 ・ごみの出し方と分別、及び資源化の啓発						
			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	H26
	活	プム加田	券回収実施団体数	団体	目標値	70	70	70	70
	動指		办口40天旭山 仲英	IZI PA	実績(見込)	67	67	64	
	標	算出根	拠等		達成率(%)	96	96	91	
	成果	プみ処理	券回収枚数	枚	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000
	果 指		か四仏仏弘	12	実績(見込)	363,739	365,780	345,053	
	標	算出根	拠等		達成率(%)	121	122	115	
	成果	生プムた	い肥化装置設置補助件数	件	目標値	74	74	74	100
	指	1	·····································	П	実績(見込)	27	20	20	
成	標	算出根	拠等		達成率(%)	36	27	27	
果	成果	完成玄	般廃棄物収集量目標値に対する増減	t	目標値	18,409	18,302	18,268	18,237
面	指	外庭术	水が木が水木里口 赤 にパナの石 水	,	実績(見込)	18,509	18,542	18,319	
	標	算出根	拠等		達成率(%)	101	101	100	
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根	拠等		達成率(%)				
			·		目標値				
					実績(見込)				
		算出根	拠等		達成率(%)				
	補足		里券回収事業によって、ごみ処理券をできる限り使用しな 出し方・分別について、依然として間違った出し方がある。		が定着してきた	t-			

3 分析·評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・生ごみ堆肥化装置設置補助件数が減少しているため、装置の効果を改めて啓発することが必要である。 ・家庭家一般廃棄物収集量が増加傾向にあるため、ごみの分け方・出し方に対する啓発が必要である。
91 510 TO 0 57 CIDENCE	

4 今後の方向性(Action)

		こ対する 応状況	・ごみの分け方・出し方の全戸配布による周知啓発の実施。 ・生ごみ堆肥化装置設置補助の啓発の実施。
担	-	維持·改善	
次無課		拡大	・ごみの減量化に繋がる「生ごみ堆肥化装置」の助成制度の啓発
年度辞		縮小	・ごみの分別方法の周知啓発
の ^{1曲}	i	廃止検討	
実施二	С	維持·改善	
方		拡大	・ ・家庭系一般廃棄物量が増加傾向にあることから、ごみ排出の現状を分析し今後の対応に繋げていく必要がある。
針評価		縮小	↑・外庭ボー放虎来物里が旧川県門にの心にCハウ、Cの併山の光仏で万旬しう伎の対応に楽けていい必安がの句。
ΊШ		廃止検討	

コスト面

1/1 国							
コスト指標		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
		歳出(千円)	(A)	11,979	11,820	13,800	13,778
		受益者1件当たり(円)	(A/B)	128	127	150	150
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業の内容 ・ ごみ処理券回収報現金の交付 ・ 生ごみ堆肥化装置設置に対する助成 ・ 生ごみ堆肥化装置設置促進 ・ 家庭からの可燃ごみの減量対策 ・ 家庭からの可燃ごみの減量対策 ・ 家庭からの可燃ごみの減量対策

	事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	13,800	13,778	△ 22	13,850	13,850		
E/	国庫支出金			0				
源	県支出金			0			・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
内	その他	13,800	13,778	△ 22	13,850	13,850		
副	一般財源	0	0	0	0	0		

本 學夕	42220	ごみ資源化推進事業費			会計	1 一般会計	6//	Ę	策	3	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	±					
尹木仁	番枝	この資源に推進予末員		予	款	4 衛生費	合	5.	野	6	6 環境·衛生	宝施計画主業	長 こみ減量化蒸鐵高標事業、ごみ再資源化事業、ごみ処理旅設維持修繕事業	長					
+B 77 =8		理控动 化洋理控制	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本	施策	2	2 資源循環型社会の実現を図る	大旭川四子 木	公	公					
担国部		環境政策部 生活環境課	2960		目	2 塵芥処理費	Ш	前	策	1	1 ごみの減量化や資源化	H26実施計画額	131,946 千円 131	หา					

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰	隹を(対象)	全市民	どうしたい のか	・一般廃棄物の資源化によるごみの減量と、資源の循環を啓発する	概	事業の実施	・容器包装及びその他資源化できるごみの集団回収への奨励
Ĥ	Þ	付象者数	92,097 人	(意図)	・一枚虎来物の具が出によるこのの感量と、見ぶの間以で省元する	要	手法(手段)	・資源ごみの収集運搬選別及び容器リサイクル施設での選別

2 事業の推移・結果(Do)

			選別委託、拠点集積所管理の委託 回収事業での奨励金 86団体						
			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	H26
	活	拠点集積所での		В	目標値	51	52	52	52
	動指	拠点未慎別での	/EIVI	"	実績(見込)	51	52	52	
	標	算出根拠等	分別収集計画		達成率(%)	100	100	100	
	成田	集団資源回収で	の回収量	t	目標値	2,650	2,644	2,639	2,635
	果指	未四兵亦四状	の四代里		実績(見込)	2,490	2,317	2,106	
	標	算出根拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	94	88	80	
	成果	拠点集積所での	の回収量	t	目標値	2,478	2,472	2,468	2,463
	未 指	近点来預別で	/四代里		実績(見込)	2,274	1,808	1,667	
成	標	算出根拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	92	73	68	
果面	成果	資源ごみ 資源化	-=	l t	目標値	3,719	3,741	3,730	3,719
囲	指	A III C V A III I	源にの 貝 源 化 里			3,277	3,289	3,284	
	標	算出根拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	88	88	88	
	成果	資源ごみ 資源化	本	%	目標値	27.7	27.9	28.0	28.1
	指	A III C V A III I	· -	/•	実績(見込)	25.4	23.3	22.0	
	標	算出根拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	92	84	79	
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				

3 分析·評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・ごみの分け方・ごみの資源化への意識高揚を図り、焼却・埋立ごみを減少させていく必要がある。
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

			:対する 5状況	・効果ある小型家電の資源化を行うため、回収品目と回収方法を試行する。 ・施設見学、出前講座等により、市民に対してごみの分別とリサイクルへの継続した啓発を図っている。
	担	0	維持·改善	
2			拡大	 ・新たに小型家電の資源化の実施と、市民、集団資源回収団体への啓発を実施するなど、更に資源化意識の高揚及び資源化を図る。
左	===		縮小	1.利にに小宝外电の具体化の大肥と、III C、未回具体四水四件、の含光を天肥するなと、更に具線化息域の向扬及の具線化を図る。
0) 価		廃止検討	
多方	-	0	維持·改善	
7	次		拡大	(担当課評価に同じ)
童	計価		縮小	(世当終計画に同じ)
	亘		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
コスト指標		歳出 (千円)	(A)	100,411	96,669	119,900	131,946
711 1134		受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,076	1,041	1,302	1,433
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業 ・廃棄物の選別回収業務の委託 ・拠点集積所管理業務の委託 ・資源回収事業に対する奨励金 ・ウ部の収率をは対する奨励金 ・プロで表表のの必理に要する経費を計上 ・市民、集団資源回収団体への啓発を徹底する ・市民、集団資源回収団体への啓発を徹底する ・市民、集団資源回収団体への啓発を徹底する ・では、集団資源回収団体への啓発を徹底する ・では、集団資源回収団体への啓発を徹底する ・では、集団資源回収団体への啓発を徹底する

	事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	119,900	119,900 131,946		110,300	110,300				
87	国庫支出金			0			・積算内容を精査			
源	県支出金			0			・低濃度PCB廃棄物の処分費を計上	・財務部査定のとおり		
ᄷ	その他	15,300	12,358	△ 2,942	15,840	15,840				
Ð	一般財源	104,600	119,588	14,988	94,460	94,460				

車業々	42225	ごみ焼却施設保守事業費			会計	1 一般会計	4/1	政	策	3	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	#	±
尹未仁	番枝	この水が配取床寸字未良		予	款	4 衛生費	総合	分	野	6	6 環境·衛生	実施計画事業	ごみ焼却処理事業、焼却処理施設整備事業	長	長
+0 17 =8			内線	算	項	2 清掃費	計画	基本	施策		2 資源循環型社会の実現を図る			公	4
担国制		環境政策部 生活環境課	2960		目	2 塵芥処理費	凹	抢	策	2 -	2・3 収集処理業務の効率化・焼却施設の整備	H26実施計画額	128,672 千円	ተባ	Ŋ

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰	を(対象)	全市民	どうしたい	・焼却施設の保守点検及び設備の更新等を定期的に行い、維持管理を適正に行う	概	事業の実施	長期修繕計画に基づき、資源リサイクルセンター及び久々野クリーンセンターごみ焼却施設の定期点検整備委託及び設備更新工事等を
Á	対	才象者数	92,097 人	(意図)	* 沈邓旭故の味可は快及い故順の更刺寺を定例的に行い、維持官理を適正に行う	要	手法(手段)	実施する

2 事業の推移・結果(Do)

T		指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	H26
泪		ごみ焼却日数(資源リサイクルセンター)			335	341	331	335
重排		資源リザイグルセンダー)	B	実績(見込)	334	342	339	
根		ごみ処理基本計画	•	達成率(%)	100	100	102	
汨		久々野クリーンセンター)	В	目標値	118	100	80	80
重排		X(3))) (2),	п	実績(見込)	116	115	80	
根	算出根拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	98	115	100	
月		濃度(資源リサイクルセンター排ガス)	ng/mੈ	目標値	1以下	1以下	1以下	1以下
持		版技(見味ケットプルピング カガハ)	lig/ III	実績(見込)	0.036	0.160	0.005	
枝根	算出根拠等	ダイオキシン測定結果		達成率(%)	100	100	100	
月月		濃度(久々野クリーンセンター排ガス)	ng/m³	目標値	5以下	5以下	5以下	5以下
排			lig/ III	実績(見込)	0.087	0.240	0.040	
楔	算出根拠等	ダイオキシン測定結果		達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				

3 分析·評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・点検結果をふまえた修繕計画の見直しによる施設の最適な維持管理
----------------------------------	---------------------------------

4 今後の方向性(Action)

			対する な状況	・ごみ量の増加対応にともなう受入設備更新などの施設整備
	担	0	維持·改善	
3			拡大	・焼却施設の定期点検整備を引き続き行うことにより、適正な維持管理に取り組む
白馬	= = =		縮小	が、中心に対した。 かん がん がん がん がん がん がん がん
0	一曲		廃止検討	
多		0	維持·改善	
7.	次		拡大	(担当課評価に同じ)
金	評価		縮小	\\ 三
	Щ		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	278,485	114,022	115,000	128,672
711 100		受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,984	1,228	1,249	1,397
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

5 予算編成(Action2)

- 東
- 資源リサイクルセンターごみ焼却施設の保守点検
内・久々野クリーンセンターごみ焼却施設の保守点検
で
会
- 長期修繕計画に基づく焼却施設の維持管理
- 長期修繕計画に基づく焼却施設の維持管理
- 設備更新による効果の検証と維持計画の見直しによる施設の適正な維持管理
- 設備更新による効果の検証と維持計画の見直しによる施設の適正な維持管理
- 設備更新による効果の検証と維持計画の見直しによる施設の適正な維持管理

	事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	115,000	128,672	13,672	115,000	115,000		
87	国庫支出金			0				
源	県支出金			0			・実施計画を基に積算内容を精査	・財務部査定のとおり
内	その他			0				
1	一般財源	115,000	128,672	13,672	115,000	115,000		

中华	42235	清掃関係事務費			会計	1 一般会計	445	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市	
尹未	番枝	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	-	予	款	4 衛生費	総合	分野	6 環境·衛生	実施計画事業	長	
+0 14		環境政策部 生活環境課	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本施策			公	
担ヨ	* 1		2172		目	2 塵芥処理費		施策		H26実施計画額	12,436 千円 🎳	

1 事業の目的・概要(Plan)

直	_		.,						
対象有数 92,097 人 心心血/		■	식주 李紫	00.007	のか	・ごみ処理施設の安全な管理運理を行う	概要	事業の実施 手法(手段)	・資源リサイクルセンターの夜間警備委託の実施 ・料金徴収ンステムの保守点検業務の実施

2 事業の推移・結果(Do)

	H24		ナイクルセンターの夜間警備委託の実施 収システムの保守点検業務の実施						
			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	H26
	活	姿 酒 ロサ ノカョ おい	·ター夜間警備委託の実施	月	目標値	12	12	12	12
	動指	貝がソッインルビン	7. 大川吉浦安乱の天池	"	実績(見込)	12	12	12	
	標	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	活	料を徴収用システ	ムの保守点検実施回数		目標値	2	2	2	2
	動指	行並以収用ンへ)	Aの床寸点快夫旭回数		実績(見込)	2	2	2	
	標	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
					目標値				
					実績(見込)				
成		算出根拠等			達成率(%)				
成果					目標値				
面					実績(見込)				
		算出根拠等		-	達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
	補足								

3 分析·評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・ごみ処理施設へのごみ搬入量に対する料金徴収とデータ管理システムが正常に稼動するよう、保守点検を実施し管理運利を行う必要がある。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	・料金徴収用システムの正常稼動のため、システム及び機器類の保守点検整備を行う。
	担	0	維持·改善	
b			拡大	・ごみ処理施設の夜間警備を行い安全な管理と、料金徴収用システムを正常運用するため適正な維持管理を実施する。
白月			縮小	1、この定性施設の役間言論をTJI・女主な旨理C、村並は収用ノステムを正常運用するにの適正な種符目型と表施する。
0	一曲		廃止検討	
更於	-	0	維持·改善	
7	次		拡大	(担当課評価に同じ)
金	評価		縮小	(世当終計画に同じ)
	亘		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	7,501	7,666	11,693	12,436
711 177		受益者1件当たり(円)	(A/B)	80	83	127	135
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業 ・資源リサイクルセンターの安全な管理を行うための夜間警備委託を実施する ・料金徴収用システムの保守点検を実施する ・料金徴収用システムの保守点検を実施する

	事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	11,693	12,436	743	11,193	11,193		
8:	国庫支出金			0				
源	県支出金	10	6	△ 4	10	10	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
P	その他			0				
副	一般財源	11,683	12,430	747	11,183	11,183		

車業 夕	42250	粗大ごみ再利用化事業費			会計	1 一般会計	<i>61</i> 1	Ę	策	3	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	
尹未石	番枝	祖人この各利用心学未実		予	款	4 衛生費	総合	5.	野	6	6 環境·衛生	中作社画古米	ごみ再資源化事業	
+D 314 ==		環境政策部 生活環境課	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本	施策	2	2 資源循環型社会の実現を図る		The state of the s	
担目詠		環境政策部 生活環境課	2960		目	2 塵芥処理費	Ш	前	策	1	1 ごみの減量化や資源化	H26実施計画額	3,904 千円 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰	蛙を(対象)	全市民	どうしたい		郷	車業の宝体	・粗大ごみのリフォーム
Á	Ż	対象者数	92,097 人	のか (意図)	・排出された粗大ごみを再利用化し、リフォームフェアーによるごみの減量化と資源化を高める	要	事業の実施 手法(手段)	・リフォームフェアーの開催

2 事業の推移・結果(Do)

H24	4実績・リフォーム製品フェアーの開催(支所開催含む) 20						
	指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	H26
活		0	目標値	15	20	20	20
動指		Ш	実績(見込)	15	20	20	
標		•	達成率(%)	100	100	100	
成			目標値	3,000	3,000	3,000	3,000
果指		^	実績(見込)	1,956	1,637	1,612	
標			達成率(%)	65	55	54	
成果		個	目標値	600	600	600	600
果 指		160	実績(見込)	562	465	802	
. 標		•	達成率(%)	94	78	134	
果			目標値				
5			実績(見込)				
	算出根拠等	-	達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等	-	達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等	•	達成率(%)				
補足	・平成24年度から開催回数を増やしているが、応募者数販売個	数とも減少(頃向にある。				

3 分析·評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・排出された粗大ごみの再利用化は、品種・数量とも限りがあり応募者も特定されてしまい減少傾向にある。
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	・全支所地域でリフォーム製品フェアーを開催し事業活動を広めてゆくとともに、「おもちゃ病院」と協同し再利用製品の品種を増やし利用者の増を図る。
	担	0	維持·改善	
3			拡大	・全支所地域でリフォーム製品フェアーを開催し事業活動を広めてゆくとともに、「おもちゃ病院」と協同開催することにより、再利用製品の
白月	評		縮小	品種を増やし利用者の拡大を図る。
0	一曲		廃止検討	
更於	-	0	維持·改善	
7	次		拡大	(担当課評価に同じ)
金	評価		縮小	(だ当然計画に同じ)
	亘		廃止検討	

コスト面

-, · · · ·						
		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円) (A)	3,660	3,608	3,910	3,904
2111 1111		受益者1件当たり(円) (A/B)	39	39	42	42
	受益者	市民(4月1日現在) (B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業・租大ごみの再利用によるごみの減量化内・リフォーム製品フェアの開催 。
・PL法(製造物責任法)を遵守した自転車リフォームの検討の課題

	事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	3,910	3,904	Δ 6	3,910	3,910		
82	国庫支出金			0				
源	県支出金			0			・要求どおり	・財務部査定のとおり
内	その他	700	300	△ 400	720	720		
副	一般財源	3,210	3,604	394	3,190	3,190		

古業な	42255	発砲スチロール再資源化事業			会計	1 一般会計	4/1	政	策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画		
尹未1	番枝	元紀ハノロール行兵級化学末)	~	予	款	4 衛生費	合	合 分野	野	6	環境·衛生	実施計画事業	プス 三次海 ル 古光 1	E	
+D 717 ==		7914年15年16日 - 1417年14年19日	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本	施策	2	資源循環型社会の実現を図る			*	
担当部		環境政策部 生活環境課	2960		目	2 塵芥処理費	ш	施		1	ごみの減量化や資源化	H26実施計画額	2,975 千円 料	ני	

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を	(対象) 全市民 - (対象) - (対象	どうしたい のか (意図)	・日常生活に伴って生じる資源ごみを再資源化することにより、ごみの減量化と資源循環型社会の実現を図る	概要	事業の実施 手法(手段)	・発泡スチロールの資源ごみを収集運搬し、減容機で中間処理し再資源化する
	XII	8 有 数 92,09 / 人	(2512)				

2 事業の推移・結果(Do)

	H24	実績・発泡	スチロールの収集運搬、減容委託						
			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	H26
	活	発泡スチロール		В	目標値	362	360	360	361
	動指	光池ステロール	の回収日数	"	実績(見込)	362	360	360	
	標	算出根拠等	分別収集計画		達成率(%)	100	100	100	
	成	発泡スチロール	収集搬入量	t	目標値	14	14	14	14
	果指)UUX/ = /V	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	`	実績(見込)	14	14	14	
	標	算出根拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	100	100	100	
	成果	発泡スチロール	咨 源化量	l t	目標値	14	14	14	14
	指			`	実績(見込)	14	14	14	
成果	標	算出根拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	100	100	100	
果面					目標値				
Щ					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
	補足								

3 分析·評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・市民に対して、引き続き資源ごみの分別に対する啓発が必要である。
----------------------------------	----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

			:対する 5状況	・発泡スチロールの資源化啓発を継続し、資源化によるごみの減量化を図っている。
	担	0	維持·改善	
次	当課		拡大	・引き続き、発泡スチロールの資源化啓発を継続し、資源化によるごみの減量化を図る。
年度	評		縮小	うけいで、元心スプロールの見ばに召光と他がし、見ばにしなるというの処里にと回る。
の	100		廃止検討	
実施	_	0	維持·改善	
方			拡大	(担当課評価に同じ)
針	評価		縮小	(注当
	ш		廃止検討	

コスト面

一八 1 曲							
		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	2,659	2,669	3,080	2,975
		受益者1件当たり(円)	(A/B)	28	29	33	32
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

	事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	3,080	2,975	△ 105	3,080	3,080		
財	国庫支出金			0				
源	県支出金			0			・要求どおり	・財務部査定のとおり
内	その他			0				
畑	一般財源	3,080	2,975	△ 105	3,080	3,080		

*	± ₽	42260	42260 容器包装廃棄物再資源化事業費 会計 1 一般会計 政策 3 「すみよ		「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画								
72	1	番枝	谷价已农虎朱彻丹贝称10字末)	学 未英		款 4 衛生費		総合	分野		分野 6 環境·衛生		中长司本本	マル 主後 注ル 素 巻	
40.	, =m		7 H 14 7 L 66 40 LL 77 7 H 14 2 H	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本	施策	2	資源循環型社会の実現を図る		ごみ再資源化事業	
担目	話		環境政策部 生活環境課	2960		目	2 塵芥処理費		施	策	1	ごみの減量化や資源化	H26実施計画額	52,531 千円 💆	

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰	を(対象)	全市民	どうしたい	・日常生活から分別排出される容器包装を適正に資源化し、資源の循環型を啓発する	概	事業の実施	・分別収集された容器包装を選別圧縮し、再資源化施設へ搬出し資源化する
Ĥ	女	象者数	92,097 人	のか (意図)	・日常生活からガ別排出される谷番包装を適正に真源化し、真源の循環型を啓発する	要	手法(手段)	*ガ別収集されに谷畜己装を逃別は難し、再資源化施設へ振田し資源化9 る

2 事業の推移・結果(Do)

	H24	実績・プラス	スチック製容器包装、紙製容器包装の再資源化委託	ŧ					
			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	H26
	活	プニフェック制成	2.25.44.10年13.15.1011.10.12.25	В	目標値	311	308	308	309
	動指	プラスチック製容器包装収集及び回収日数			実績(見込)	311	308	308	
	標	算出根拠等	分別収集計画		達成率(%)	100	100	100	
	活力	紙制灾哭与生的	7集及び回収日数	В	目標値	311	308	308	309
	動指		XXXVIIXI W	П	実績(見込)	311	308	308	
	標	算出根拠等	分別収集計画		達成率(%)	100	100	100	
	成果	プラスチック製容	2. 男与壮心生景	t	目標値	651	651	652	650
	未 指	ノ)ハ)) / 衣七	r储已农从未里	,	実績(見込)	694	685	671	
成	標	算出根拠等	分別収集計画		達成率(%)	107	105	103	
果面	成果	紙製容器包装収集量			目標値	621	622	623	620
ш	未 指	きなける 日本のない	(木里	t	実績(見込)	624	606	586	
	標	算出根拠等	分別収集計画		達成率(%)	100	97	94	
	成	プラフチック制ダ	S器包装資源化量	t	目標値	651	651	652	650
	果指	ノフヘナソン教を	* 伯巴农 貝娜儿里		実績(見込)	622	629	621	
	標	算出根拠等	分別収集計画		達成率(%)	96	97	95	
	成田	紙製容器包装資	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	t	目標値	621	622	623	620
	果指	*************************************	ᄔᄳᆡᅜᆂ		実績(見込)	598	573	559	
	標	算出根拠等	分別収集計画		達成率(%)	96	92	90	
	補足								

3 分析·評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・市民に対して、引き続き、資源ごみの分別に対する啓発が必要である。
明らかになつに誄超	

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	・収集運搬された容器包装の適正な再商品化を継続し、ごみの減量化を図る。
	担	0	維持·改善	
3	当課		拡大	・引き続き、収集運搬された容器包装の適正な再商品化を継続し、ごみの減量化を図る。
左	評		縮小	JIC桃C、小木性球で小いで育品で衣が悪土な竹町印にされ続い、このが水単化で込む。
0) 100		廃止検討	
多於	- 1	0	維持·改善	
7	次		拡大	(担当課評価に同じ)
童	計価		縮小	\ニコ杯町
	Щ		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	43,985	43,343	52,400	52,531
711 177		受益者1件当たり(円)	(A/B)	471	467	569	570
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

	事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方	
	歳出(千円)	52,400	52,531	52,531 131 52,400 52,400					
Ę	国庫支出金			0					
ž	県支出金			0			積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり	
Į.	その他			0					
Ī	一般財源	52,400	52,531	131	52,400	52,400			

古坐々	42280	ごみ処理施設建設事業費			会計	1 一般会計	4/1	政	策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	
尹未仁	番枝	この大型生態政権政策以中未負		予	款	4 衛生費	合	合 分野		6	環境·衛生	中华社画古米	焼却処理施設整備事業 長	
+D 7K =6		799.44.74.77.40. 44.77.799.44.79		算	項	2 清掃費	計画	基本	施策	2	資源循環社会の実現を図る		- Ta	
担国部		環境政策部 生活環境課	2960		目	2 塵芥処理費	回	施	策	3	新焼却施設の整備	H26実施計画額	49,109 千円 ***	

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を(付象) 全市民	どうしたい のか	新ごみ処理施設建設候補地を決定し、地元同意を得て、市民や議会に情報を発信する。 さらに、市民を含む検討委員会にて施設の建設方針を協議しながら建設を推進する。	概	事業の実施 手法(手段)	建設候補地の決定後、地元並びに地権者の同意を得て、候補地の測量及び地質調査業務を委託する。
н	対象:	5数 92,097 人	(意図)	でのに、中氏を自む検討委員会にて肥故の建設が異ないの建設を推進する。	女	于运(于权)	

2 事業の推移・結果(Do)

_		実績	ごみ処	理施設整備基礎調査(候補地選定調査)実施 理施設に関する市民説明会開催(H25.1月~2月)						
				指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	H26
	活	→ 21 km ##	体設厂	関する市民説明会の開催回数	0	目標値		5		
	動指	C077233	一川田口又「〜	メックロス記の五の所作自 数	ш	実績(見込)		5		
	標	算出根	拠等			達成率(%)		100		
	活動	ごみ処理	施設に	関する市民説明会への参加者		目標値		130		
	指					実績(見込)		133		
	標	算出根	拠等			達成率(%)		102		
	活動	ごみ処理施設建設に関する地元町内説明会の開催回数				目標値			4	_
	指					実績(見込)			4	
成	標	算出根	拠等			達成率(%)			100	
果面	活動	ごみ処理	施設建	設検討委員会の開催回数		目標値				2
H	指					実績(見込)				
	標	算出根	拠等			達成率(%)				
						目標値				
						実績(見込)				
		算出根	拠等			達成率(%)				
						目標値				
						実績(見込)				
		算出根	拠等			達成率(%)				
	補足	これまで	に、候補	ままで はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま	施している	00				

3 分析·評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・今年度中に新ごみ処理施設の建設候補地を選定し、計画の段階をステップアップさせることが必要である。
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	今年度中に新ごみ処理施設の建設候補地を選定する。
	担	\perp	維持·改善	
次	当課	0	拡大	・新ごみ処理施設建設に向けて、環境影響調査並びに発注準備を継続する。
年度	評		縮小	利こックを注他改姓改(こ内) / C、珠光が音詞且並びに元/江平順と極続する。
_o	価		廃止検討	
実施			維持·改善	
方		0	拡大	(担当課評価に同じ)
針	評価		縮小	12
	亘		廃止検討	

コスト面

コハー国						
		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円) (A	3,045	3,455	10,510	49,109
		受益者1件当たり(円) (A/B	33	37	114	533
	受益者	市民(4月1日現在) (B	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業 京の 京が のが、ボータ処理施設建設に係る、基本設計、生活環境影響調査等の業務 のが、ボースの理施設建設に係る、基本設計、生活環境影響調査等の業務 のの課題

	事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額 增 減 財務		財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	10,510	49,109	38,599	5,410	5,410				
E/	国庫支出金			0			- ・事業内容を精査			
源	県支出金			0			・事業内台を相互 ・基本設計、生活環境調査等に着手できないため、予算計上を見送る	・財務部査定のとおり		
内	その他			0						
副	一般財源	10,510	49,109	38,599	5,410	5,410				